

(臨床研究に関するお知らせ)

社会医療法人愛仁会高槻病院整形外科で、人工股関節全置換術を受けられた患者さんへ

社会医療法人愛仁会高槻病院整形外科では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、当院倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

人工股関節置換術後の臨床成績と画像所見に関する研究

2. 研究責任者

社会医療法人愛仁会高槻病院整形外科 部長 藤代 高明

3. 研究の目的

人工股関節全置換術は、股関節障害に伴う痛みを改善するために現在多く行われている手術ですが、手術に伴って股関節周囲の靭帯をある程度切離することを要します。できる限り靭帯を温存する手術方法について、これまでに各施設で様々な方法が試みられていますが、いまだ確立された方法はありません。

近年当施設では、股関節最大の靭帯である前十字靭帯を温存する手術を行い、手術に伴う損傷を避けてできる限り温存するようにしています。この腸骨大腿靭帯の温存の有無による、術後成績の改善性についてデータを報告していくことにより、今後の整形外科の発展に寄与したいと考えております。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

変形性股関節症の患者さんで、平成28年4月1日から平成33年3月31日までの期間中に、人工股関節全置換術の治療を受けた方

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、カルテ情報、手術前および手術後の股関節の撮影写真に関する情報です。

(3) 方法

対象となる患者さんの手術後のインプラント設置位置の計測をおこない、靭帯温存によって設置位置に差を生じるか調査します。また、リハビリテーションでの記録の比較を行い、靭帯温存によってリハビリテーションの成績に差を生じるか調査します。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

〒569-1192 大阪府高槻市古曾部町 1-3-13

社会医療法人愛仁会高槻病院整形外科 担当医師 藤代 高明

TEL : 072-681-3801 FAX : 072-682-3834

E-mail : [taka2446@yg8.so-net.ne.jp](mailto:taka2446@yg8.so-net.ne.jp)